

1. 感染症速報（壱岐地区）

令和7年12月19日作成

2025年 第50週 12月8日 ~ 12月14日

作成:長崎県壱岐保健所 企画保健課

疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り
インフルエンザ	☒	RSウイルス 感染症	☺	咽頭結膜熱	☺	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	☺	急性呼吸器 感染症(ARI)	☺
警報:開始30 終息10	103.00	警報:開始 - 終息 -	0.00	警報:開始3 終息1	0.50	警報:開始8 終息4	2.00	警報:開始 - 終息 -	108.33
感染性胃腸炎	☺	水痘	☺	手足口病	☺	伝染性紅斑 (リンゴ病)	☺	※定点数3:インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 急性呼吸器感染症(ARI)	
警報:開始20 終息12	0.00	警報:開始2 終息1	0.00	警報:開始5 終息2	0.00	警報:開始2 終息1	0.00	※定点数2:上記以外の疾患	
突発性発しん	☺	ヘルパンギーナ	☺	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	☺	新型コロナウイル ス感染症	☺	※急性呼吸器感染症(ARI)とは、急性の上気道炎 (鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下 気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原 体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型 コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶 血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなども含ま れ、報告数は重複します。	
警報:開始 - 終息 -	0.00	警報:開始6 終息2	0.00	警報:開始6 終息2	0.00	警報:開始 - 終息 -	2.33		
	発生報告 なし		少数の発生あり		流行に注意 【注意報レベル】		流行中 【警報レベル】		

※警報レベル基準値は表示のとおり(-は設定なし)。注意報レベル基準値は、インフルエンザ:10 水痘:1 その他は設定なし。

2. トピックス

★県内及び壱岐でインフルエンザが警報レベルで流行しています!!

壱岐地区においては、第48週に警報開始基準値「30.0」を上回る「30.67」となり、第49週「45.33」、第50週「103.00」と急拡大しています。

手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、ワクチンを接種しましょう。

長崎県内の2025年第50週の患者報告数は3,060人で、定点当たり報告数は「60.00」となり、11月27日にインフルエンザ流行警報が発表され、4週続けて警報レベルの報告数となっています。

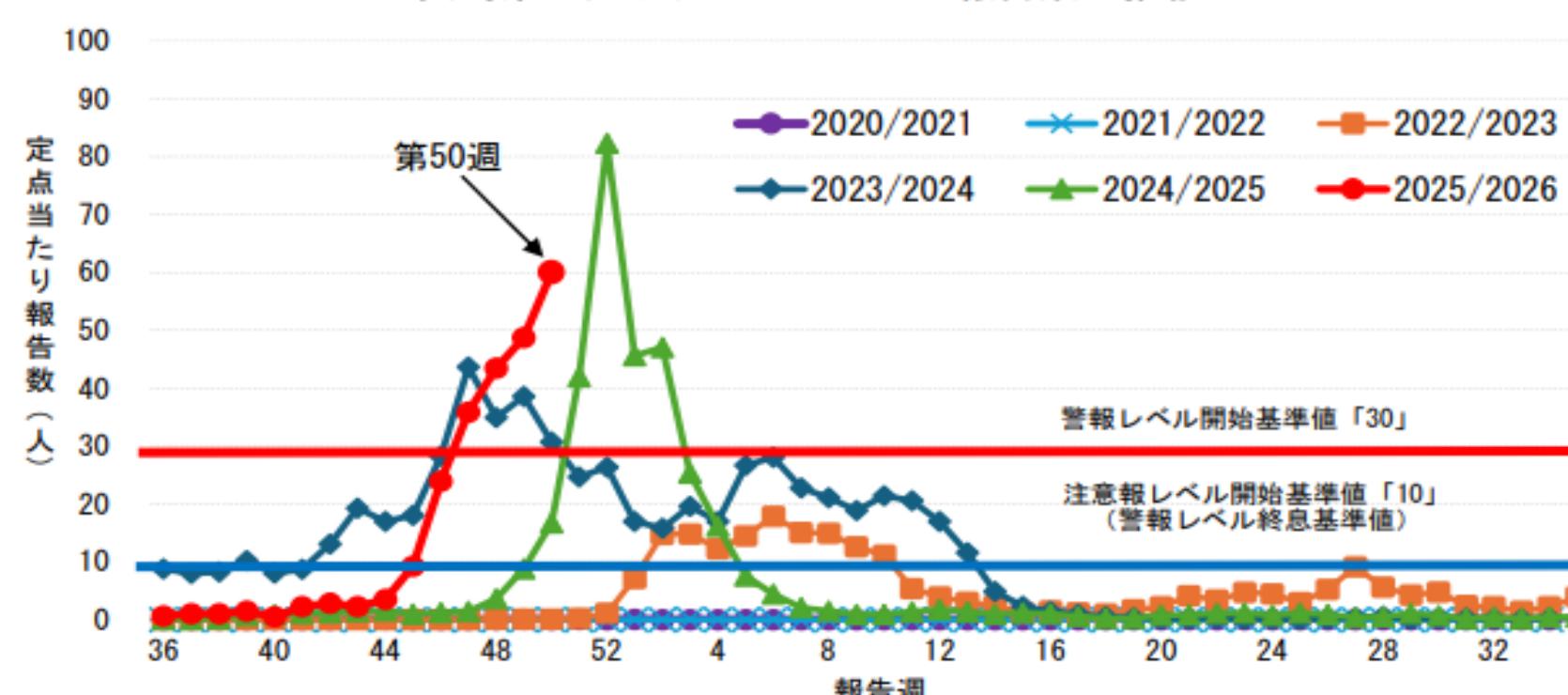
また、地区別にみると、10保健所のうち7保健所で警報レベル、2保健所で注意報レベルの報告数となっています。年代別では、10歳未満(54%)、10代(28%)が多くなっています。

[◎長崎県感染症情報センターホームページ「インフルエンザ」をご覧ください。](#)

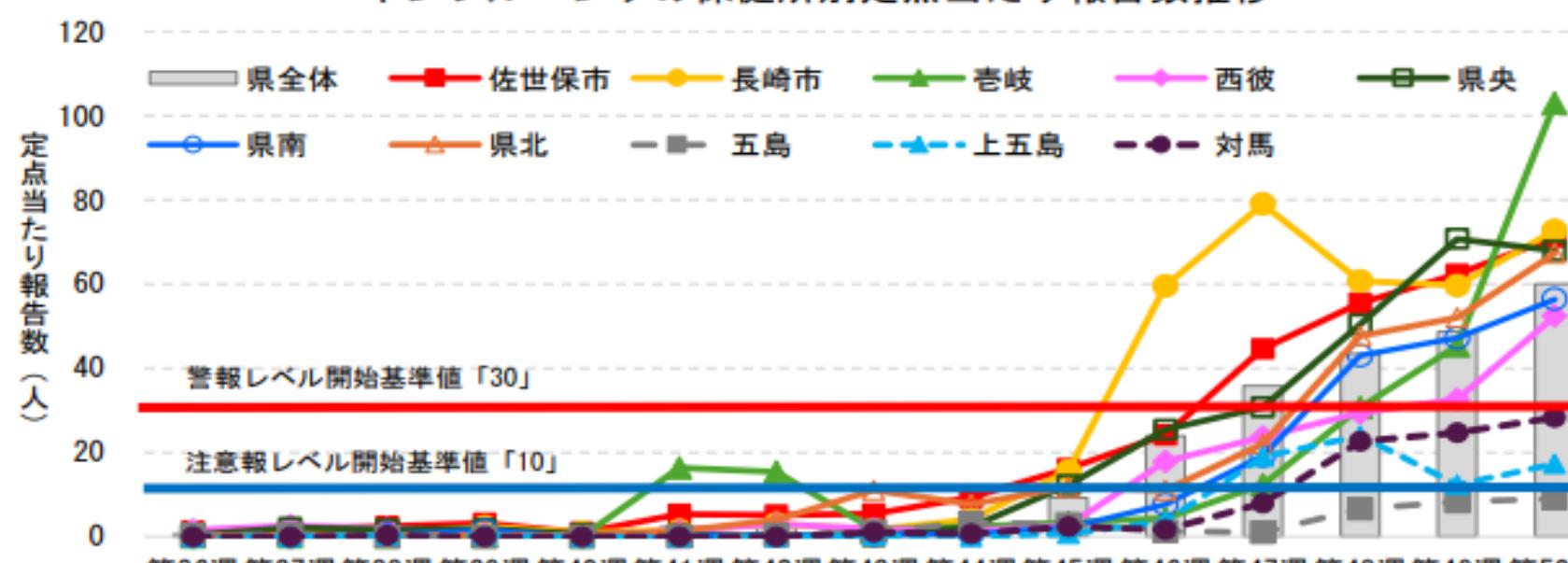
[◎2025/2026シーズンのインフルエンザ臨時休業措置等](#)

[\(参考\)厚生労働省「インフルエンザ総合ページ」](#)

長崎県におけるインフルエンザ報告数の推移



インフルエンザの保健所別定点当たり報告数推移



インフルエンザの年代別患者報告数

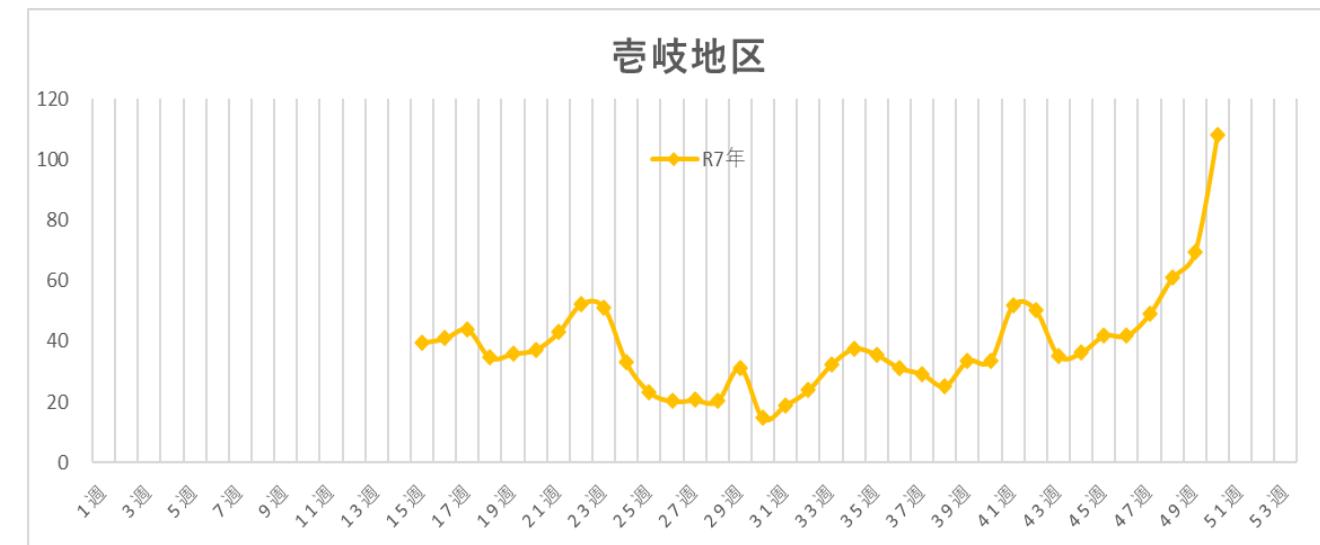
	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
報告数(人)	1665	857	137	141	111	60	48	27	14
報告割合(%)	54.4	28.0	4.5	4.6	3.6	2.0	1.6	0.9	0.5

★急性呼吸器感染症（ARI）に注意しましょう

急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection:ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎）または下気道炎（気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症などが含まれます。法律の改正により、令和7年4月7日からARIが5類感染症に位置づけられ、県内では51医療機関（ARI定点）から、1週間（月～日曜）にARIと診断された患者数が週に1回報告されています。

県内では10月末から患者数が増加傾向にあり、第50週の定点当たり報告数は「104.63」で、壱岐地区では「108.33」でした。インフルエンザをはじめとするARIの予防には、手洗いやマスク着用を含む咳エチケットなどの基本的な感染対策が有効です。ARIの中には、高齢の方や基礎疾患をお持ちの方が感染すると重症化するものもあります。場面に応じた対策を心がけましょう。

(参考)厚生労働省「令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症(ARI)総合対策」



★海外へ渡航される皆様へ

<感染症に注意しましょう!>

年末年始を海外で過ごす予定の方もいらっしゃると思います。海外には日本で発生していない感染症がたくさんあります。

海外で注意が必要な感染症や発生情報は、各検疫所や外務省のホームページで確認いただけます。

特に、FORTHでは、旅行前の準備や注意点について詳しく記載しておりますので、下記URLからご参照ください。

海外に渡航される方は、渡航先の状況や滞在中の計画に応じた適切な感染予防を心がけてください。

(参考)厚生労働省 海外へ渡航される皆様へ

※海外渡航者向けポスター・リーフレットが掲載されています。

(参考)厚生労働省検疫所(FORTH)

※海外の感染症の最新の流行状況や予防方法などの情報を伝えています。



効かない薬が増えている!! 薬剤耐性(AMR)を知っていますか?

●薬剤耐性(AMR)とは
…感染症の原因となる細菌に
抗菌薬・抗生物質が効かなくなること

感染症の予防や治療が難しくなり
さまざまな医療を行えなくなってしまう

～私たちができること～

①不必要的時に抗菌薬をのまない
かぜに抗菌薬は効きません!
かぜやインフルエンザの原因となるウイルスに、
抗菌薬はそもそも効果がありません。
必要なない抗菌薬は求めないようにしましょう。

②抗菌薬は指示通りにのみましょう
残しておかない 人にあげない もらわない

③基本的な感染対策をしましょう
手洗い 咳エチケット ワクチン接種

～かぜに抗菌薬(抗生物質)は効きません!!～

(参考)AMR臨床リファレンスセンター

薬剤耐性

かぜに抗菌薬は効きません!!

TVアニメ「はたらく細胞」コラボ
キャンペーンポスター PDF

薬剤耐性(AMR)とは
抗菌薬に対する細菌の効力がなくなることです
「がの」の字は「がのく」です
自己免疫や細胞膜等で抗菌薬を攻撃する
細胞膜等で抗菌薬を攻撃する
細胞膜等で抗菌薬を攻撃する

AMR臨床リファレンスセンター